

金属資源 事業戦略

金属資源本部

福田 哲也

メガトレンド



世界の安定的かつサステナブルな発展の為に

金属資源産業が抱えるChallenge

**資源の
安定供給**

埋蔵量減少・採掘条件悪化

**グリーン原料・
素材の供給**

技術・コスト

**循環型経済の
仕組み提供**

経済性・規模

三井物産が取組む金属資源事業

地下資源事業の強化

地上資源の展開と成長



地球環境変化への対応

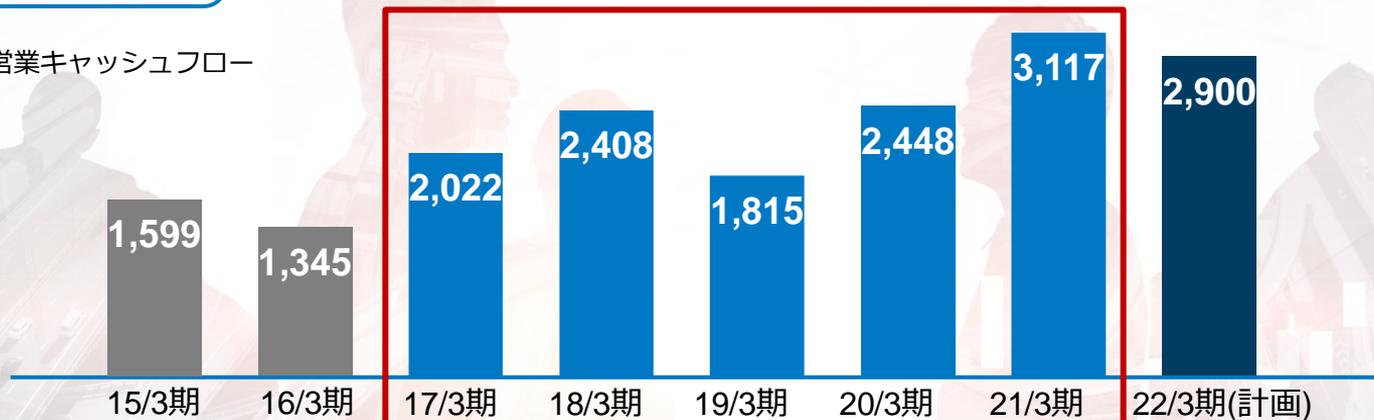
新たな領域へ挑戦

定量 / キャッシュ創出と収益性

過去5年間

累積基礎営業キャッシュフロー 約**12,000**億円

■ 基礎営業キャッシュフロー
(億円)



下方耐性 + アップサイド取込み
を兼ね備える事業基盤

キャッシュ創出力のある地下資源事業ポートフォリオの強化

- ◆ アジアを中心に鉄鋼需要は拡大し、鉄鉱石・原料炭は引き続き長期に亘り需要あり。
- ◆ 電動化やEV、モビリティ軽量化等に**必須の原料**は大幅な需要増加。
 - 銅 25%増、ニッケル 70%増、アルミ 40%増 (2030年需要-2020年対比当社試算)を見込む -



高炉原料
鉄鉱石・原料炭

更なる強化、新たな取組み

- 鉄鉱石の持分生産量積増し・鉱量拡充
- 原料炭のポートフォリオ良質・コスト競争力強化
- 低炭素鉄源の事業化



銅
電池原料

既存事業の良質化、優良権益拡充

- 銅は既存事業拡張・開発
- ニッケル・リチウム権益 拡充

地上資源(リサイクル)事業の展開

- ◆ LCA普及が進み、**リサイクル原料**の利用が拡大。
- ◆ 電池リユース・リサイクルの社会的要請 (EV普及に伴う回収・再利用ニーズ)。



金属
リサイクル

事業基盤強化・展開

- 循環型社会を見据えた需要の取込み、金属リサイクルの強化
- 社会の成熟度(スクラップ発生)に応じた国内外での事業展開



電池
リサイクル

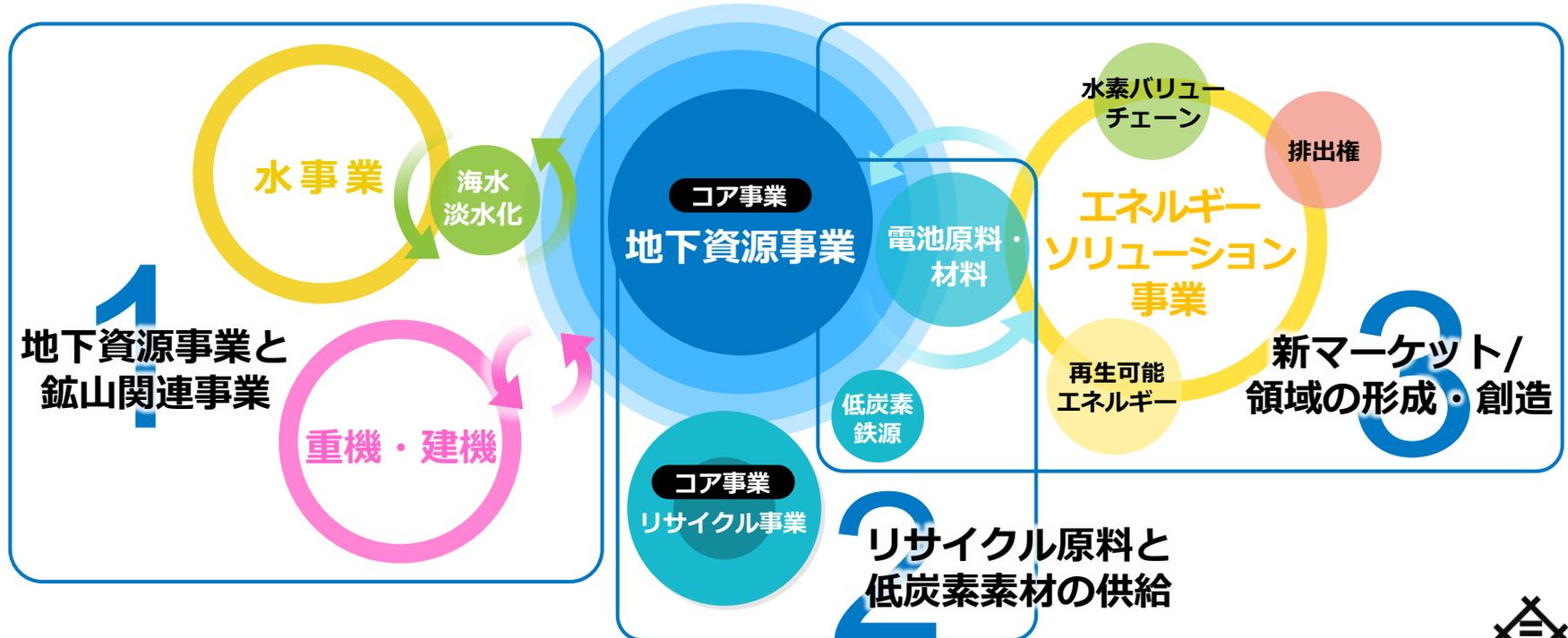
電池バリューチェーンへの取組み

- 電池リサイクルの産業基盤を形成



「総合力を活用した事業の強化」と「新領域/事業群の開拓」

コア事業を通じた複合的な事業展開



金属資源事業の目指すものと定量イメージ

「原料の安定供給 と 循環型社会の両立」

を通じ、社会の発展と低炭素社会の形成に貢献

2030年、(商品価格に関わらず) **安定的に2,000億円**規模の
基礎営業キャッシュフローを創出